

# 岡山大学病院で1956年1月1日から1976年3月31日 の間に小児股関節脱臼の入院治療を受けられた患者さん で当院において人工股関節置換術を受けられた方及 びご家族の方へ

## —「小児股関節脱臼の加療後に人工股関節置換術を受けられた方 の調査」へのご協力をお願い—

本研究の内容は、研究に参加される方の権利を守るため、研究を実施することの適否について川崎医科大学・同附属病院倫理委員会にて審査され、既に審議を受け、承認を得ています。また、学長と病院長の許可を得ています。岡山大学倫理審査委員会においても審査を受けたうえで承認され、研究期間の長の許可を得ています。

研究責任者 川崎医科大学 骨・関節 整形外科学 准教授 遠藤裕介

### 1. 研究の概要

岡山大学病院で1956年1月1日から1976年3月31日までに小児股関節脱臼の入院治療を受けられた患者さんのうち、2005年以降に岡山大学病院および川崎医科大学で人工股関節手術を受けられた方の過去および現在までのレントゲン画像および診療記録記載のデータを個人情報保護に基づいて解析させていただきます。長期の経過後の人工股関節置換術の手術成績や回復に差があるかどうかの調査です。

### 2. 研究の方法

#### 1) 研究対象者

1956年1月1日から1976年3月31日までに小児股関節脱臼の入院治療を受けられた患者さんで2005年以降に岡山大学病院および川崎医科大学において人工股関節置換術を受けられた方を研究対象とします。

#### 2) 研究期間

倫理委員会承認日～2025年3月31日

#### 3) 研究方法

上記の研究対象期間に当院において人工股関節置換術の治療を受けられた方で、研究者が診療情報をもとに小児期の治療内容、手術時間、出血量、術後日常生活の状態や疼痛を含む股関節スコア、股関節可動域、疼痛、X線上の脚長差のデータを選び、これらのスコアに関する分析を行い、その内容について調べます。

#### 4) 使用する情報の種類

過去のカルテ内容、生年月日、レントゲン画像を使用します。

5) 情報の保存及び二次利用

この研究に使用した情報は、研究の中止または論文等の発表から5年間、川崎医科大学骨・関節整形外科内で保存させていただきます。電子情報の場合はパスワード等で制御されたコンピューターに保存し、その他の情報は施錠可能な保管庫に保存します。

6) 研究計画書および個人情報の開示

あなたのご希望があれば、個人情報の保護や研究の独創性の確保に支障がない範囲内で、この研究計画の資料等を閲覧または入手することができますので、お申し出ください。

また、この研究における個人情報の開示は、あなたが希望される場合にのみ行います。あなたの同意により、ご家族等(父母(親権者)、配偶者、成人の子又は兄弟姉妹等、後見人、保佐人)を交えてお知らせすることもできます。内容についておわかりになりにくい点がありましたら、遠慮なく担当者にお尋ねください。

この研究は氏名、生年月日などのあなたを直ちに特定できるデータをわからない形にして、学会や論文で発表しますので、ご了解ください。

この研究にご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせ下さい。また、あなたの〈情報〉が研究に使用されることについて、あなたもしくは代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象としませんので、下記の連絡先までお申し出ください。この場合も診療など病院サービスにおいて患者さんに不利益が生じることはありません。ただし、すでにデータが解析され、個人を特定できない場合は情報を削除できない場合がありますので、ご了承下さい。この場合も診療など病院サービスにおいて患者さんに不利益が生じることはありません。

<問い合わせ・連絡先>

岡山大学 整形外科

氏名: 山田和希

700-8558

岡山市北区鹿田町 2-5-1

岡山大学整形外科

電話: 086-235-7273 (平日: 8時30分~17時00分)

ファックス: 086-223-9727

E-mail: phj6317b@s.okayama-u.ac.jp

<研究組織>

主管研究機関

川崎医科大学 骨・関節 整形外科学 准教授 遠藤裕介